



石神井南中学校 学校だより

令和 元年度 第 10 号
発行日 2月18日(火)
練馬区立石神井南中学校
校長 田邊 克宣

「 偏見・差別・いじめ 」

校長 田邊 克宣

2月3日、今日は何の日か。朝礼で問いかけたところ、反応はいま一つでした。小学生くらいならば元気に「セツブーン」と返ってくるところでしょうか。ともあれ、季節の変わり目のさなか、無病息災を願う日本の古くからの風習です。四季折々の表情を見せる日本という国にあって、石南中生たちも、日々、いろいろなことに直面しながら生活しています。まだまだ寒暖を繰り返す季節の中、健康第一に、春を迎えたいと思います。

朝礼ではもう一つ、「黄色人種という言葉聞いたことのある人。」と問いました。数人の手が挙がりました。「聞いたことのない人。」と問い直すと、多くの手が挙がりました。子供たちは、知らないのですね。知らないまま世界に飛び出した時、知らないでは済まされない現実に直面することになります。それは、この日本という国土においても、同様です。国際化がこれだけ進んだ現代において、生活の場がどこであろうと、さまざまな人種、民族の中で、自分もその一人として生きていく上で、知らないことは、偏見と差別を助長することにつながりかねません。そして、差別をする者は、巡り巡って自分にも返ってくるということを認識しなければなりません。社会経験の浅い子供たちに、人権について意図的に考えさせる必要性を改めて考えた次第です。

20日の生徒会朝礼では、「“届けよう、服のチカラ”プロジェクト」でいただいた感謝状を全員に披露しました。今年で3年目となる石南中伝統の取組に、保護者の皆様からもたくさんのご協力をいただきました。紙面を借りて御礼申し上げます。

今回、集められた服は、アフリカのコンゴ民主共和国へ贈られました。コンゴでは、近隣諸国から53万8千人（練馬の人口の約77%）もの難民を受け入れており、服を寄贈した地域では、中学校への進学率は約15%しかないということです。生徒たちには、「寒い中、こうして静かに座って話を聴いている君たちは、教室に戻ればエアコンがある、昼になれば給食が出てくる、着るものがないなんてことはない。これが普通ではない世界が、ある。この現実をどう考えるか。世界に目を向け、自分がどう生きていくかを考えよう。」と話しました。

グローバル社会の中であって、インクルーシブ教育の実践が求められている昨今、要は、誰もが皆、安心して暮らせる世の中を創っていくということでしょう。簡単なことです。そして、実に難しい問題です。自身の経験としては、偏見や差別に対して、社会の中で大きな変化の波が来ていることを感じます。ことは人種に限りません。障がい、性別、性的志向、他にも、偏見や差別の対象となることは枚挙にいとまがありません。その一つ一つを解決するには、まだまだ道のりは長いと思います。でも、30年前には公に語られなかったことも含め、課題として明らかになってきたことは、大いに歓迎すべきことです。今、この機に、現代を生きる当事者として、差別などない社会を構築していきたいと、改めて思います。

石南中生には、次代を担う子供たちとして、その柔らかい感性に大きな期待を込めながら、偏見・差別・いじめなど過去のものであったと言える世界を創っていく力を育んでもらいたいと、強く願っています。

ご家庭でも、お子様と話す機会を作り、共に考えていただければと存じます。

“届けよう服のチカラプロジェクト” 2019年度の成果

副校長 武藤 祥史

2月10日(月)生徒会朝礼の後、UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)と株式会社ファーストリテイリングから今年も本校へ感謝状が贈られ、校長先生から生徒を代表して生徒会長の松田珠莉さんへ感謝状が手渡されました。今年度は7月に小中連携授業の一環として生徒会が小学校で服のチカラプロジェクトについてお話をしました。その成果もあって保護者の皆さんからたくさんの服をいただき服の総数は昨年728枚だったものが1004枚に増え、総重量も116.2kgから181.2kgに増やすことができました。ご協力ありがとうございました。今年度は全国46都道府県442校が参加し、約87万枚の子ども服を回収することができたそうです。この内本校の子ども服はアフリカのコンゴ民主共和国に送られ、紛争から逃れてきた難民の子どもたちにUNHCR(国連難民高等弁務官事務所)を通じて手渡されます。この地域には約53万人の難民がいて、18歳未満の子どもたちで小中学校への進学率は15%と非常に低い状況だそうです。この服が子どもたちの支えになってくれればと願っています。去年は南米のコロンビア、今年度はアフリカのコンゴへと皆さんの心が届けられています。この輪がさらに広がっていくことを願っています。



東京都公立学校美術展覧会

日時 2月13日(木)～19日(水)

場所 東京都美術館(上野)

本校出品者

技術	キーホルダー	3-3	竹岡 美咲			
家庭	幼児のためのパペット	3-1	中森 唯華	3-3	吉田 彩葉	
美術	ステンドランプ	3-1	南 咲子			
	樹脂粘土による和菓子	3-3	吉田 彩葉			
	線描画	3-3	平山 華	松島 葵		